

正式版



倉敷市グラウンド・ゴルフ協会

大会規約

ハンドブック



大会規約

本規約は、
① 倉敷市G G協会 ローカルルール規定
② 倉敷市G G協会 競技説明規定
③ 倉敷市G G協会 大会規定
④ 倉敷市G G協会 ルール補足規定 で構成し、
本大会規約は、倉敷市G G協会が主催、主管する大会に適用され、
日本グラウンド・ゴルフ協会規則と異なる事項のみ、本規約が優先される。

目次

① 倉敷市G G協会 ローカルルール規定	----	1
② 倉敷市G G協会 競技説明規定	----	2
③ 倉敷市G G協会 大会規定	----	3~5
第1項 順位の決め方		
第2項 ニアピンゲーム		
第3項 表彰規則		
第4項 1番組リーダーとリーダー職務		
第5項 欠場者・交代者届出規定		
第6項 スコアの本人確認義務と申告後の自己責任		
第7項 ゴールド・ダイヤモンド、ダイヤモンド、 オール2打賞のスコアシート記入と本部届出義務		
第8項 天候等による大会中断・中止基準		
第9項 新聞・インターネットへの掲載による個人情報の同意		
④ 倉敷市G G協会 ルール補足規定	----	6~13
① エチケット・マナー		
② ホールポストの向きの修正		
③ スタートマットの位置の修正		
④ 足跡や穴の修復 障害物除去		
⑤ 打順の間違い、競技ホール間違い、その他違反や紛らわしい行為		
⑥ ボールとマーカーの置き方		
⑦ 反則打撃の説明		
⑧ ポスト脚部付近での打撃判断基準は？		
⑨ ボールと障害物との間隔が狭い時の判断基準は？		
⑩ スコアカードの様式		
⑪ 罰則の科し方		
⑫ 周知と徹底方法		
⑬ 関係書類		改訂履歴

1 ローカルルール 規定

倉敷市グラウンド・ゴルフ協会のローカルルールを以下協会規則として定める。

このローカルルールは倉敷市グラウンド・ゴルフ協会が主催・主管する大会に適用し、日本グラウンド・ゴルフ協会公式ルールと異なるものは、本ルールが優先される。

第1項 打順

- ・1打目は、ローテーション方式により順次打って行く
- ・2打目からは「トマリ」するまで続けて打つ（連打）
- ・2打目からの打順は、記録者がプレーヤーの名前を呼んで指名し、プレーヤーは名前が呼ばれてから 返事をしてから打つ。打撃後記録者は『何打のいくつ』をコールする



第2項 記録者；《3・1方式》

《3・1方式》記録の方法

- ① バインダーは各ホール打順3番目の人が、打ち終えた後、運ぶ
- ② 3番目の人は、1番目の人のホールアウトの記録をし、1番目の人に渡す
- ③ 1番目の人は、そのホールの全員（自分以外）の記録をする
- ④ 次ホール、バインダーは「3番目に打ち終えた人」に渡す

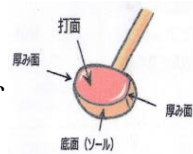
第3項 お先に

- ・1打目がホールポスト近く（30cm以内）に止まった場合は、必ず先に続けて打つ
- その場合、記録者及び、次打者に「合図」してから、打つこと



第4項 クラブの使用方法

- ・ボールは、クラブヘッドの「打面」でのみ打つこととし、いかなる場合でも、クラブの厚み面・裏面・底面等、打面以外で打ってはならない。
- 但し、デュアルフェイス（両面打ち）クラブは裏表共使用可とする



第5項 目的外のホールポストに入った場合

- ・目的外のホールポストに入ってしまった場合は、必ず目的ホールポストに近づかないクラブ1本分の距離内に、ボールを置いてプレーする。
- この場合は1打付加する

2 競技説明規定

本競技説明は、倉敷市グラウンド・ゴルフ協会主催競技大会時の競技説明用として定める

本日の競技上の 確認事項と重点テーマについて説明いたします。

《確認事項》

- ① 全R共一斉スタートで、2R終了後15分休憩を取ります。
2R終了後3Rスタート位置を、全員で確認しておいて下さい。
- ② 打順は、1打目はローテーションで、2打目以降はトマリまで連打で打って下さい
- ③ 記録は、3.1リレー方式で行います。
記録する人は名前を呼んで、打つ人は返事をしてから打ってください。
また 記録する人は 何打のいくつをコールして下さい。
- ④ 自己申告票は、本人の確認・チェック印記入後 まとめて提出して下さい。
- ⑤ ダイヤモンド、ゴールドダイヤモンド 及び オール2打賞が出た場合は、自己申告票、スコアカードに記入し、必ず本部に申告して下さい。
- ⑥ ゲーム終了後、最終ホールのスタートマットやホールポスト等をそのコースの1番ホールのスタート位置に戻して下さい。
- ⑦ 会場は禁煙です。所定場所での喫煙にご協力下さい。

※ グラウンド不良時のみ

【具体的な範囲】は修復して構いません。

その他のルールは、日本GG協会ルール 及び 協会ローカルルールを適用致します。

不明な時は、リーダーを中心に話し合っ合意の上進めてください。

※ 本日は【重点取組事項】を重点にプレーして下さい

《本日の重点テーマ》例 1大会1項目のみ

※組全員がホールアウトしたら、ポストの向きを確認後、後の組にリーダーを主に、合図をしましょう。

※1打を打ち終わったら、中央部は避け、速やかに移動しましょう。等

大会規定

倉敷市グラウンド・ゴルフ協会の大会運営ルールを以下協会規則《大会規定》として定める。

この大会規定は倉敷市グラウンド・ゴルフ協会が主催・主管する大会に適用する。

第1項 順位決め方

- ・順位は合計打数の少ない競技者を上位とし、同じ打数の場合は、年長者を上位とする。
- ・但し 1位・2位・3位で同打数が複数の場合は、ニアピンゲームで順位を決定する。

第2項 ニアピンゲーム

- ・ホール距離は 25mとし、メジャーで計測する。
- ・打順はジャンケンで、勝者が選択権を有し、勝った者から打順を決定する。
- ・順位はボールの端から、ポストの外リングの距離を計測し、近い者から順に上位とする。
目測による距離が判断しづらい場合は、メジャーにて計測すること。
- ・詳細は、《協規B-05号；「ニアピン」規程》による。

第3項 表彰基準

① 順位賞

- ・協会公認大会は1位～20位を表彰基準とする。

但し 参加者数により 大会毎に順位賞の変更も可能とする。

② ゴールド・ダイヤモンド賞、ダイヤモンド賞

- ・1ラウンド（8ホール）においてホールインワンを連続3回以上達成した場合、「ゴールド・ダイヤモンド賞」とし、表彰する。
- ・1ラウンド（8ホール）においてホールインワンを3回以上達成した場合は、「ダイヤモンド賞」とし、表彰する。
- ・同一大会で複数回達成した場合は、G・ダイヤモンド賞、ダイヤモンド賞共達成したゲーム（回数）分全てを表彰する。
- ・詳細は、《協規B-03号；「ダイヤモンド賞」表彰規定》による。

③ オール2打賞

- ・大会中、1ラウンド（8ホール）を、すべて2打で回った場合、オール2打賞として表彰する。（8ホール、オール2打で合計打数が16で回った者が対象）
- ・同一大会で複数回達成した場合は、達成したゲーム（回数）分全てを表彰する。
- ・詳細は、《協規B-04号；「オール2打賞」表彰規定》による。

④ ホールインワン賞

- ・打ったボールが1打目でトマリとなった場合、ホールインワンとして表彰する。同一大会でのホールインワン賞は、1人1個とする。

⑤ 賞品授与基準

- ・各表彰の該当競技者には、その栄誉を称え賞品を授与する。
その種類は下記であるが、大会毎で変更もあり得る。
順位賞、Gダイヤモンド賞、ダイヤモンド賞、オール2打賞、ホールインワン賞
協会会長賞、事務局長賞、ラッキー賞、参加賞、その他 等

⑥ 表彰状授与基準

- ・下記3大会において、それぞれ1～3位はその栄誉を称え、表彰状も合わせ授与する。
*倉敷地域大会 *春期市長杯 *市民フェスティバル
- ・但し 諸状況により変更もありうる。

⑦ トロフィー授与基準

- ・「倉敷地域」
優勝＝持ち回りカップ。次回レプリカトロフィー授与
2・3位・特別賞＝取り切りトロフィー
- ・「市長杯」
1・2・3位＝持ち回りカップ。次回《商品券》を授与する。
- ・「佐古杯」「会長杯」「ふれあい3大会」
1位＝持ち回りカップ。次回《商品券》を授与する。
- ・「市民ふれあい」「遠征」「市民フェスティバル」
1位＝当日《商品券》を授与する。（トロフィーなし）
- ・但し 諸状況により変更もありうる。

第4項 1 番組リーダーとリーダー職務

- ・各組のリーダーを打順1番とし、その職務は下記とする。
 - ① 開会式前の出場者、欠場者、交代者のチェックとスコアカード、自己申告票のチェック
 - ② 競技説明（特に当日限定ルール）メモと組内周知
 - ③ 自組メンバーの所定場所への誘導
 - ④ 打順の確認と3・1方式不能者時の対応
 - ⑤ 1,2ゲーム終了後、3ゲーム目のスタート場所の徹底
 - ⑥ 1,2ゲーム終了後の休憩時間での前半スコアチェック
 - ⑦ ゲーム終了後 打数確認、合計欄への記入、自己申告票への転記 及び申告票本人確認及び、確認済みチェック印記入
 - ⑧ Gダイヤモンド、ダイヤモンド、オール2打賞の記入と本部報告
 - ⑨ スコアカード、自己申告票、バインダーの所定場所への返却

第5項 欠場者・交代者届出規定

- ・欠場者や交代者が生じた場合の諸手続きを規定する。
- ・詳細は、《欠場者・交代者届出規定》による。

第6項 スコアの本人確認義務と申告後の自己責任

- ・スコアカード及び自己申告票の打数は、記入の間違ひがないかリーダーと共に必ず確認をすること。
- ・提出後の本人申告での修正は認めない。

第7項 ゴールド・ダイヤモンド、ダイヤモンド、オール2打賞のスコアカード記入と本部届出義務

- ・上記特別賞が生じた場合、スコアカードへの明記と本部への届け出を必ず行うこと。

第8項 天候等による大会中断、中止基準

- ・大会の中断、中止判断と各中止時の扱いについて規定する。
- ・詳細は、《天候等による大会中断・中止基準》規定による。

第9項 新聞・インターネットへの掲載による個人情報の同意

- ・大会参加者へのサービスを目的とし大会の写真・記事・記録等において氏名・肖像等の個人情報が新聞・インターネット等に報道・掲載される場合があることを予めご了承ください。同事項に同意して頂けない方は、参加申込み時又は、大会受付時にその旨を申し出て下さい。申し出が無い場合は、同意して頂いたものとして取扱いさせていただきます。

倉敷市グラウンド・ゴルフ協会 ルール 補足 規定

4

実際の大会においてエチケットやマナー面から生じやすい不適切行為と思われる事例を注意喚起の観点より列記し、また 競技ルールにおいても、日本グラウンド・ゴルフ協会ルール及び 協会ローカルルールのみでは判断が難しい事例についてその判断を補足する。

そして その判定・判断の適否決定の基本は下記である。

- ①あるがままにプレーする
- ②他人に迷惑をかけたり不快感を与えない
- ③自分に有利になるような判定はしない
- ④自分で判定出来ない時は、同伴プレイヤーの意見を聞いて自分で決める

1

エチケット・マナー

JGGAルールブック【第1章 エチケット】には、

☆プレーヤーは、自分のプレーが終わったら、すみやかに次のプレーヤーの妨げにならない場所に行く。

☆プレーヤーは、同伴のプレーヤーが打つ時には、話したり、ボールやホールポストの近くや後ろに立たない。そして動き回らない。
近くにいると、スイングしたクラブに当たり、危険も伴う。
また 自分たちの前を行く組のプレーが終了してからスタートマット上に、ボールを置きましょう。

とあるが、下記のような事例が見受けられる。

注意する方も、注意される方も気分は良くない。自ら十分気を付けましょう。

- ①アドレスの時近い所に立ち、人影が視界に入る
- ②近い所に立ち、大声で話をする
- ③自分の打順なのに、次の人が素振りを何回もしたり、アドレスの構えをする
- ④打撃後その場でしばらくボールの行方を見て、速やかな移動がない
- ⑤打撃後コース中央を歩く
- ⑥プレー終了後ポスト周りから、すみやかに退避をしない
- ⑦ホールポストの後ろに人影が入る
- ⑧コース内に人が入る
- ⑨前組のプレーが終わっていないのに、スタートマットにボールを置いている
- ⑩プレー終了後 ポストの向きの修正もせず、後続の組に手を挙げ合図もなく、速やかな移動がない

【ルールブック P19】
前組プレー終了後、
スタートマットにボールを置く

2 ホールポスの向きや沈んだ場合の修正

- ◆ボールが当り、ポストが動いたことが判った場合は、ポストの向きの修正はいつ直せますか？
☆ ボールが当たったらその時即修正する。
- ◆ボールが当り、ポストが動いたことやポストの底円輪が沈んでいることが判ったが、修正せずプレーを続行したが、同組の競技途中で修正して良いか？
☆その組の全員のプレーが終わるまで修正は出来ない。
- ◆1番目のプレーヤーが、打撃後ポスト付近に行き、前組が修正していないため、ポストの向きが正しくないことや、ポストの底円輪が沈んでいる場合、修正はいつ直せますか？
☆『その組全員のプレー終了後直す』ことを基本とする。
但し 『曲がりや沈み具合が大きい場合、一番目に打った人が影響を受けなかった場合は、すぐ直す』方が良い。

3 スタートマットの位置の修正

- ◆ティーアップ前であれば、スタートマットの前後方向、横方向の修正はしても良いですか？
また 誰が直しても良いですか？
☆ティーアップ前であれば、誰でも修正しても良い。
- ◆ティーアップ後に スタートマットの位置や方向の修正はできるか？
☆『ティーアップ前に行く』を基本とする。
但し 『マットの修正行為がティーアップの前後かどうか、他の人とのゲームの公平性には余り影響しない』の判断のもと、ボールを一旦ティーから外し修正しても可とする。

4 足跡や穴の修復 障害物除去

- ◆ティーアップ後にスタートマット直前の穴の修正はできるか？

☆『ティーアップ前に修正する』を基本とするが、
『ティーアップ行為を、そこまで厳しく見るか？ 必要ないのでは』の判断のもと、
ティーアップ後、修正しても可とする。

【ルールブック P21】

前のプレーヤーの穴は、直してからティーアップすること

- ◆後半スタート時であれば、足跡の修復をして良いか？

☆【ルールブックP42～43 右記参照】後半スタート時が、プレー前か否かの
紛らわしい判断は混乱を招くため、単純に
『大会が始まったら自分がつけた
足跡以外グラウンドは直せない』より、
他人の足跡の修復は不可とする。

【ルールブック P42～43】

ボールはあるがままの状態
でプレーし、障害物は取り除かれ
ません。障害物はプレーが始まる
直前に取り除きましょう。



- ◆競技の移動時、1ゲーム終了後、休憩後3ゲーム前に、見つけた小石やゴミは取り除いても良いか？
☆上記と同様な判断により、取り除くことは出来ない。

5 打順の間違い、競技ホールの間違い、その他違反や紛らわしい行為

- ◆打順を間違っ打った時どうすべきか

☆【ルールブックP25】打ち直しをせず、そのまま続け、次の打から元の打順に戻す。
1打加はありません。

- ◆ゲーム中の打球練習は違反であるが、ゲーム中、ゲーム外、コース内外の定義は？

☆【ルールブックP36 ゲーム中いかなる打球練習をおこなってはならない。反則として1打付加。
ゲーム開始前のコース内の打球練習は、しないのがエチケットである】と記されている。
ゲーム中の定義；大会の開始から終了まで
基本的には ゲーム外 及び コース内外を問わず、一切しないのがエチケットである。
このため ゲーム中の打球練習以外は1打罰は適用しない。

- ◆本来の競技ホールと間違って他のホールでプレーした時は？

☆【ルールブックP36 ゲーム中いかなる打球練習をおこなってはならない。反則として1打付加】
このプレーをゲーム中の打球練習とみなした場合は1打罰となるが、意図した練習でなく、
打順間違いと同等と判断し、罰則なしで正式ホールでプレーをやり直す。

- ◆競技中コース特性など情報を、プレーヤー同志が教え合っている

☆【ルールブックP37】援助行為とみなし、受けた側に1打付加する。
但し 実際の運用においては、P12 (11) 項より、厳重注意扱いとする。

- ◆他プレーヤーのボールが自分のボールに当たった時、近傍の人が戻したり また
ホールインワンのボールは本人以外の人が拾っている

☆【ルールブックP27】(間違っ打ったボールは、ボールの持ち主が元の位置に戻し・・・) より
ボールは、ボールの持ち主しか触れない。
よって近傍の人が位置を指示し、ボールの持ち主が元の位置に戻す。

- ◆前のプレーヤーが「お先に」の場合、次プレーヤーはスタートマットにボールを置いて良いか？

☆前者のプレー後ティーアップが望ましい。

- ◆ボールを打った時、一緒に他人のマーカーも飛ばした。この場合の対処法は？

☆マーカーはボールと同じ扱い。よって マーカーの持ち主が元の位置に戻す。

6

ボールとマーカークの置き方

◆マークは、ボールの持ち主が、ホールポストに対して、ボールの後方にマークすることが原則であるが、下記のような事例も見受けられる。

注意する方も、注意される方も気分は良くない。自ら十分気を付けましょう。

- ① ずれて置いている又無造作に投げて置いている
- ② 腰を曲げてマーカークを置くのが面倒くさいため投げて置く
- ③ マーカークより少々前にボールを置く
- ④ 後続者のボールが当たりそうになる為、マーカークをせずボールを持ち上げる
- ⑤ ホストの足を避けマーカークを置く ⇒ 嚴重注意 (マークの置き方での罰則規定はない。マナーの問題)
- ⑥ 先にボールを取ってから、マーカークを置いている

◆ホストより後方のボールはマーカークをしなくて良いですか？

☆他のプレーヤーのボールが当たったり、マーキングの不正誘発にもなりかねないため、マークすることが望ましい。

7

反則打撃とは具体的にどんな打ち方かの説明を？

- ① まわし打ち
クラブの打ち抜き方向(フォロースルー)が直線ではなく、回転を加えた曲線方向に打ち出す
特にホールポスト付近が多い。
- ② かき寄せ
ボールとクラブを接触させたまま(ボールとクラブが一体状態)で打撃をしない状況でボールを
手前に引く形態。特にホールポスト付近が多い。
- ③ 押し出し
ボールとクラブを接触させたまま(ボールとクラブが一体状態)で打撃をしない状況でボールを
向こうへ押し出す形態。特に後方に障害物があり、ストロークが取れない場合が多い。
- ④ 二度打ち
打ったボールが跳ね返り、更にクラブに当たり、打撃状態になる
特に ホールポストの脚にあたり、跳ね返ったボールがクラブにあたる場合が多い。
- ⑤ クサビ打ち
後方に障害物があり、ストロークが取れない場合、斜め上方から叩きつけるような方向に
クラブを入れる場合が生じやすい。

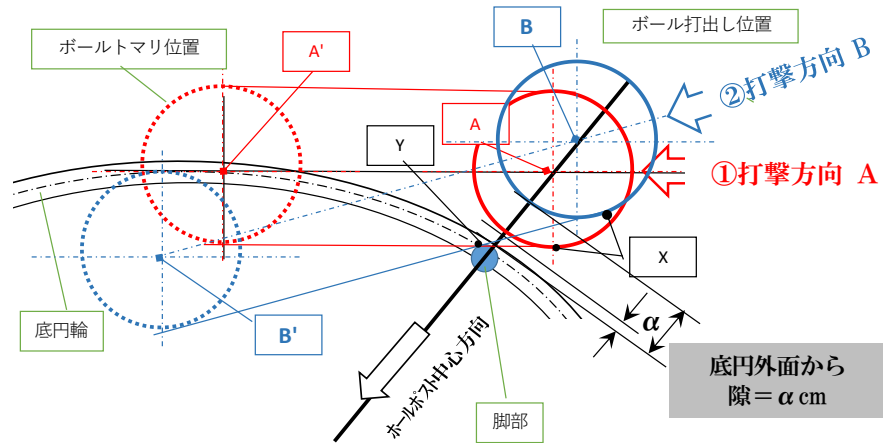
上記の打ち方は、全て反則打法となり、1打付加される。

但し 実際の運用においては、P12 (11) 項より、最初は嚴重注意とする。

(9)

8

ポスト脚部付近での打撃判断基準は？



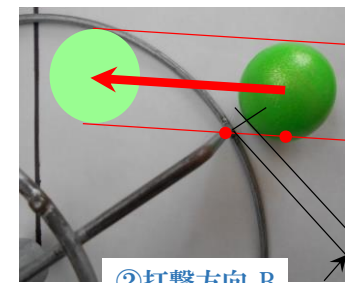
ボールが脚部の真正面で極近い場合の打撃 (X点がY点と接する状態でボールが動く軌跡)
隙 = α cm を作図より 求める。

①【打撃方向A】(底円輪中心上でトマリ; 実際はあり得ない); $\alpha \approx 0.5$ cm

②【打撃方向B】(ボール全体が底円輪内でトマリ); $\alpha \approx 2$ cm

よって2cm以内でトマリとなることは、反則打撃を行っていることとなる。

但し ボールが脚部真正面でなくずれると、隙 α の余裕は生じてくる。



(結論)

ポストの脚近くについた場合、
脚部とボールとの隙 α が

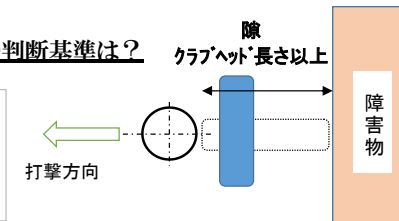
隙 $\alpha \approx 2$ cm \approx ボール径の1/3

を目安とし、これ以上ない場合は、
出して打つこと。

9

ボールと障害物との間隔が狭い時の判断基準は？

Minクラブヘッド長さ相当以上の隙がないと、
打撃にならない。
これ以下は反則打撃となる可能性大のため、
出して打つこと。



(10)

関 連 書 類 (規定)

1. ローカルルール	協規 B-01号
2. 天候等による大会中断・中止基準	協規 B-02号
3. 「ダイヤモンド賞」表彰規定	協規 B-03号
4. 「オール2打賞」表彰規定	協規 B-04号
5. 「ニアピン」実施要領規定	協規 B-05号
6. スコアカード記録について (お願い)	協通 15-06号
7. クラブの使用方法について (通達)	協通 15-04号
8. 記録者呼称 及び 記録補助者の廃止について (お願い)	協通 18-01号
9. 《1番 組リーダー》《1・2番同支部》《リーダー不可能者事前登録》について (お願い)	協通 18-02号
10. 倉敷市GG協会主催競技大会用 競技説明	協通 18-03号
11. 欠場者・交代者の対応 (届出票)	協規 B-06号
12. 「途中参加者・途中棄権者の手続きと対応」規定	協規 B-07号

改 訂 履 歴

令和元年9月1日 制定 倉敷市GG協会 編

改1 令和4年9月1日

大会規約 表紙に「ハンドブック」を追加

② 競技説明規定 ②項に打順は1打目はローテーションで、2打目以降はトマリまで連打で打つを追加

③ 大会規定 第2項ニアピンゲーム 距離20～25mの歩測を、距離25mとし実測に改訂

第3項 ①順位賞 協会公認大会は1位～20位を表彰基準とする。

⑦ トロフィー授与基準

《レプリカ》授与を《商品券》授与とし、《とりぎり》カップを《とりぎり・商品券》授与とする。

第4項 ⑦申告票本人確認 第6項 提出後の本人申告での申請は認めない。

④ ルール補足 規定 ⑤ ◆打順を間違って打った時 ◆前のプレーヤーが「お先に」の場合

⑦ ⑥描きだし打ち 削除